

分科会評価結果

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、学校にスクールサポートスタッフを配置し、教職員の事務負担を軽減することにより、教職員が子供と向き合うための時間を十分確保し、より子供たちへの指導や教材研究等に注力できる体制の充実に資することを目的としている。

令和２年度については、令和２年４月から小中学校及び義務教育学校12校に計12名を配置し、同年８月以降、追加配置を行い、６学級以上の小中学校及び義務教育学校72校に計73名を配置している。学校からは、スクールサポートスタッフが学習プリント等の印刷や配布準備、採点補助、来客・電話対応、新型コロナウイルス感染症対策の消毒作業等を行うことにより、教職員が授業準備や児童生徒対応により専念できるとの声が得られており、教職員の事務負担軽減につながっていると認められる。

今後は、国や県からの補助金等の有無にかかわらず、適切な体制を維持していくとともに、６学級未満の小中学校への配置等も検討する必要があることから、拡充とした。